

えっ! Linux屋でもこんなに簡単…
センサやLCD液晶が自在に

私の体験談! Raspberry PiでI²Cデバイスを動かす

関山 守

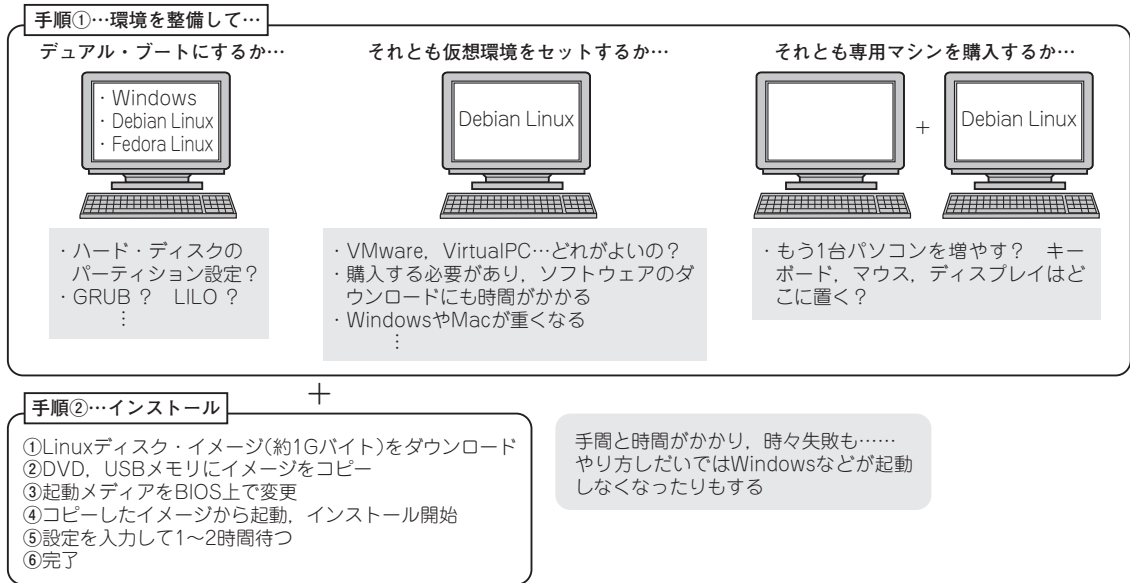


図1 Linuxに手を出すのはえらくたいへんだった

もう誰でもLinuxを始められる

● これまでは…

Raspberry PiやBeagleBone Blackなど, 安価なLinuxワンボード・マイコンの登場で, 簡単にLinuxを利用する環境が整うようになりました。

かつては, 手もちのパソコン上でLinuxを使えるようにするために,

- ・ 仮想環境やデュアル・ブートのセットアップ
- ・ 専用パソコンの準備
- ・ DVDなどのインストール・メディアを用いたインストール作業

などが必要でした(図1)。

この少なくない苦勞をしたうえで, Linuxが動いたときの喜びはそれなりのものがありました。しかし, 作業の中でパソコンの動作が不安定になることもあり,

ひどいときには普段使っているWindowsやMacOSなどの重要なファイルを失うことがありました。

このようにLinuxに手を出すのは簡単ではありませんでした。

● Linuxのイメージ・ファイルをSDメモリーカードに書き込むだけ…インストールや設定が不要

Linuxワンボード・マイコンを実際に使えるようにセットアップするのは, インターネット環境さえあれば簡単にできます。Linuxシステムのイメージ・ファイルをダウンロードしてSDメモリーカードに書き込むだけです。

たいてい, ワンボード・マイコンの開発元が自社製品にふさわしい複数のLinuxシステムをネットワーク上で公開しています。ダウンロードはもちろん無料であることが多く, 使う側が自分に合ったLinuxシステムを選ぶことができます。